



2020年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月5日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東
 コード番号 6778 URL https://www.artiza.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 床次 直之
 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 清水 政人 TEL 042-529-3494
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年3月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第2四半期の連結業績（2019年8月1日～2020年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第2四半期	1,511	98.6	261	—	209	—	157	—
2019年7月期第2四半期	761	△35.8	△397	—	△399	—	△304	—

(注) 包括利益 2020年7月期第2四半期 211百万円 (—%) 2019年7月期第2四半期 △316百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第2四半期	19.40	19.37
2019年7月期第2四半期	△37.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年7月期第2四半期	5,698	3,774	66.2	455.40
2019年7月期	5,047	3,318	65.7	411.12

(参考) 自己資本 2020年7月期第2四半期 3,771百万円 2019年7月期 3,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年7月期	—	0.00	—	—	—
2020年7月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年7月期の連結業績予想（2019年8月1日～2020年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	14.0	250	236.0	225	238.8	150	27.5	18.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期2Q	9,562,000株	2019年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	2020年7月期2Q	1,281,070株	2019年7月期	1,491,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期2Q	8,098,267株	2019年7月期2Q	8,070,984株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願いいたします。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

移動体通信分野では、世界的に多種多様なモバイル端末の普及により、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が継続しております。国内においてはLTE-Advancedのサービスが普及し、既存のLTEのサービスに対して更なる高速化・大容量化が実現しております。また、LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proの開発を継続しつつ、第5世代(5G)通信方式の商用化へ向けた実証実験も開始されております。海外におきましても、LTE-Advancedサービスに加え、先行的な5Gサービスも一部で始まり、更なる移動体通信の高速化が全世界で進行しております。

また、固定通信分野におきましては、企業向け及び家庭向け光ファイバの普及によるブロードバンドサービスが定着し、NetflixやAmazonプライム・ビデオ等のビデオストリーミングを中心としたデータトラフィックが急速に増加しております。通信事業者は、急増する多種多様な通信トラフィックに柔軟に対応するため、ネットワークの負荷低減に向けた投資や、ネットワーク処理のソフトウェア化を急速に進めながら、通信インフラの更なる高速化・大容量化を推進しております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い、設備投資や開発投資の需要が見込まれる一方で、通信事業者間の加入者獲得競争による、サービスの低価格傾向は定着しており、通信業界全体の投資意欲に関しましては、引き続き選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) 5Gに対応する製品の開発及び販売
- (ii) LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proに対応する製品の開発及び販売
- (iii) 欧州、中国、北米、韓国、中東等の海外市場における5G及びLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
- (iv) LTEに対応する製品の保守及び販売
- (v) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vi) 通信分野における新事業に向けたマーケティング

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークソリューション) 1,175,098千円(前年同期比101.3%増)

当セグメントの売上高は、1,175,098千円となりました。移動体通信市場におきましては、第5世代(5G)通信方式の商用化へ向けた実証実験が行われ、国内大手通信事業者は、2020年の東京オリンピックを前に、本格的な5G商用サービスを開始する予定であります。そのような環境において、前第3四半期より当社における「5G」初のフラッグシップ製品となる「DuoSIM-5G」の販売を開始いたしました。当第2四半期におきましては、5G関連製品の販売が増加し、前年同期比で大幅な増収となりました。

セグメント損益につきましては、238,353千円の営業利益(前年同期は営業損失334,511千円)となりました。前年同期に対し売上高は大幅に増加したことに加え、LTE-Advanced及びLTE-Advanced Pro向けの研究開発費及び販売管理費が前年同期比で減少したことによるものです。

(IPネットワークソリューション) 336,638千円(前年同期比89.7%増)

当セグメントの売上高は、336,638千円となりました。ネットワーク監視におけるパケットキャプチャツール「etherExtractor」の販売が前年同期比で大幅に増加した結果によるものです。

セグメント損益につきましては、前年同期比で売上高が大幅に増加したことに加え、研究開発費及び販売管理費が減少した結果、23,175千円の営業利益(前年同期は営業損失63,420千円)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高1,511,736千円(前年同期比98.6%増)、営業利益261,528千円(前年同期は営業損失397,932千円)、経常利益209,200千円(前年同期は経常損失399,763千円)となりました。当第2四半期連結会計期間末において、繰越欠損金が当第1四半期連結会計期間末に対して減少したことによる繰延税金資産の減少に伴い、法人税等調整額を50,563千円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、157,137千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失304,712千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,495,588千円であり、前連結会計年度末に比べ697,686千円増加いたしました。有価証券が144,475千円減少した一方で、現金及び預金が629,686千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,203,037千円であり、前連結会計年度末に比べ46,894千円減少いたしました。投資有価証券が16,350千円増加した一方で、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が50,998千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,576,398千円であり、前連結会計年度末に比べ235,177千円増加いたしました。未払法人税等が67,241千円減少した一方で、支払手形及び買掛金が399,419千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は347,489千円であり、前連結会計年度末に比べ40,971千円減少いたしました。長期借入金が41,040千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,774,737千円であり、前連結会計年度末に比べ456,585千円増加いたしました。新株予約権の行使による自己株式の処分により資本剰余金が170,180千円増加し、自己株式が71,190千円減少したことに加え、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が157,137千円増加したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による収入372,485千円、投資活動による収入54,264千円、財務活動による収入202,837千円により、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は2,577,202千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益209,200千円に対し、減価償却費94,205千円、たな卸資産の増加額164,708千円、仕入債務の増加額399,452千円、未払消費税等の減少額68,359千円、法人税等の支払額59,214千円等があった結果、営業活動によって増加した資金は372,485千円(前年同期は286,592千円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出66,729千円、無形固定資産の取得による支出16,081千円があった一方で、有価証券の償還による収入136,936千円等があった結果、投資活動によって増加した資金は54,264千円(前年同期は104,507千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出41,040千円等があった一方で、新株予約権の行使による自己株式の処分による収入240,600千円等があった結果、財務活動によって増加した資金は202,837千円(前年同期は889,255千円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、下期の売上は上期と同程度となるものの、5G向け研究開発費及び海外向けの販売管理費等が上期に比べ増加を見込んでいることから、2019年9月5日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,947,516	2,577,202
受取手形及び売掛金	1,191,112	1,205,309
有価証券	144,475	—
商品及び製品	384,345	442,545
仕掛品	15,029	70,342
原材料及び貯蔵品	102,523	155,927
その他	12,899	44,260
流動資産合計	3,797,902	4,495,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	218,355	212,535
工具、器具及び備品(純額)	317,224	306,203
土地	16,794	16,794
有形固定資産合計	552,374	535,533
無形固定資産	96,112	100,747
投資その他の資産		
投資有価証券	334,290	350,640
その他	267,155	216,117
投資その他の資産合計	601,445	566,757
固定資産合計	1,249,932	1,203,037
資産合計	5,047,835	5,698,626
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	152,903	552,323
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	82,080	82,080
未払法人税等	80,149	12,907
賞与引当金	35,160	33,143
その他	190,927	95,944
流動負債合計	1,341,220	1,576,398
固定負債		
長期借入金	376,240	335,200
資産除去債務	12,221	12,289
固定負債合計	388,461	347,489
負債合計	1,729,682	1,923,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,503,745	1,673,926
利益剰余金	1,081,403	1,238,540
自己株式	△505,593	△434,403
株主資本合計	3,438,904	3,837,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△126,492	△71,526
為替換算調整勘定	5,740	5,218
その他の包括利益累計額合計	△120,752	△66,308
新株予約権	—	3,633
純資産合計	3,318,152	3,774,737
負債純資産合計	5,047,835	5,698,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
売上高	761,099	1,511,736
売上原価	338,673	560,456
売上総利益	422,425	951,279
販売費及び一般管理費	820,358	689,751
営業利益又は営業損失(△)	△397,932	261,528
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,225	2,394
未払配当金除斥益	745	692
その他	654	24
営業外収益合計	3,625	3,111
営業外費用		
支払利息	1,165	2,846
有価証券償還損	—	39,978
為替差損	4,220	10,990
その他	71	1,623
営業外費用合計	5,457	55,439
経常利益又は経常損失(△)	△399,763	209,200
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△399,763	209,200
法人税、住民税及び事業税	1,600	1,500
法人税等調整額	△96,650	50,563
法人税等合計	△95,050	52,063
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△304,712	157,137
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△304,712	157,137

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△304,712	157,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,299	54,966
為替換算調整勘定	△1,999	△522
その他の包括利益合計	△11,298	54,443
四半期包括利益	△316,011	211,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△316,011	211,581
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△399,763	209,200
減価償却費	107,213	94,205
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,152	△2,017
受取利息及び受取配当金	△2,225	△2,394
支払利息	1,165	2,846
有価証券償還損益(△は益)	—	39,978
売上債権の増減額(△は増加)	118,950	△14,566
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21,373	△164,708
仕入債務の増減額(△は減少)	△207,785	399,452
未収消費税等の増減額(△は増加)	108,288	△160
未払消費税等の増減額(△は減少)	66	△68,359
その他	2,074	△60,365
小計	△283,237	433,112
利息及び配当金の受取額	1,202	1,371
利息の支払額	△1,165	△2,783
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,392	△59,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	△286,592	372,485
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△49,190	△66,729
無形固定資産の取得による支出	△55,055	△16,081
有価証券の償還による収入	—	136,936
その他	△262	138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,507	54,264
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	900,000	—
長期借入金の返済による支出	△10,500	△41,040
自己株式の取得による支出	△63	—
配当金の支払額	△181	△36
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	240,600
新株予約権の発行による収入	—	4,404
その他	—	△1,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	889,255	202,837
現金及び現金同等物に係る換算差額	△977	98
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	497,176	629,686
現金及び現金同等物の期首残高	1,091,752	1,947,516
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,588,929	2,577,202

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年1月6日付発行の第7回新株予約権（第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権）の一部行使による自己株式の処分を行いました。これにより、資本剰余金が170,180千円増加し、自己株式が71,190千円減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金は1,673,926千円、自己株式は△434,403千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年8月1日 至 2019年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	583,651	177,448	761,099
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	583,651	177,448	761,099
セグメント損失（△）	△334,511	△63,420	△397,932

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年8月1日 至 2020年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,175,098	336,638	1,511,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,175,098	336,638	1,511,736
セグメント利益	238,353	23,175	261,528

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。